県身協だより

発行者
一般財団法人　青森県身体障害者福祉協会
〒030-0122　青森市大字野尻字今田52－4
TEL:017-738-5059　FAX:017-738-0745
E-mail:aoshinsyou@nemunoki.jp

第10号
平成30年１月１日発行

新年のごあいさつ

青森県身体障害者福祉協会　　会長　山　田　金　治



新年あけましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、国は、2020年に開催されるパラリンピック競技大会が、共生社会の実現に向けて人々の心の在り方を変える絶好の機会として「ユニバーサルデザイン2020年行動計画」を示し、「ユニバーサルデザインの街づくり」「心のバリアフリー」を推進しています。

心のバリアフリーは、幼少期からの多様性を認める教育、障害理解と社会モデル教育の推進とともに、障害当事者が必要とする配慮について積極的に発信することが大切とされています。

県身協は、会員減少が進み、組織強化をどのように進めるかが課題となっております。

新たな会員獲得のために地域での活動を着実に行うとともに、市町村や関係団体と協力、連携し組織強化を目指します。

終わりになりますが、会員皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会を開催

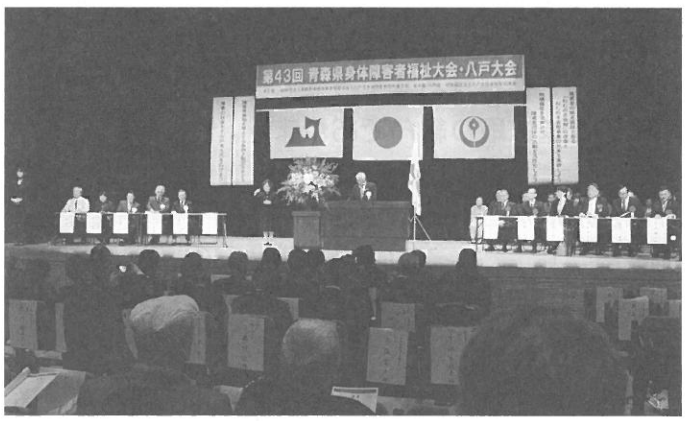
平成29年10月22日、八戸市南郷文化ホールにおいて、第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会を開催しました。県内各地より250名余りの参加がありました。

まず、開催に先立ち、今大会で知事表彰を受賞された大久保友芳様によるシャンソン、石澤春斗様による舞踊が披露され、会場から大きな拍手が湧き上がっていました。

式典では、長年にわたり障害福祉に貢献された方々、昨年度、岩手県で行われた全国障害者スポーツ大会において優秀な成績を残された方々へ知事表彰、会長表彰が授与されました。

その後、大会宣言と大会決議が提案され、満場一致で承認されました。

ご多忙中にも関わらず多くの方にご参加していただき、おかげさまで大成功のうちに大会を終了することができました。



来年度は、弘前市での開催となります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

要望事項

1　「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創りだされるものであり「障害の社会モデル」の普及に努めていただきたい。
2　障害者差別解消に向けた具体的な取組を実施するとともに地域の実情に即した条例を制定していただきたい。
3　全県をあげて、市町村身体障害者福祉会の活動が活性化されるよう、行政や地域社会福祉協議会などの関係団体の支援をいただきたい。
4　身体障害者相談員が県内全市町村に配置され、相談支援の充実が図られるよう強力に推し進めていただきたい。
5　障害者の社会参加の拠点である「ねむのき会館」の老朽化に対応した改築と、ねむのき会館事業の充実を図っていただきたい。

県知事要望について

平成29年12月21日、青森県庁を訪問し、山田会長から健康福祉部の菊地公英部長へ、青森県身体障害者福祉大会・八戸大会において決議された５項目の要望事項を提出し協力を要請しました。

以下、菊地部長から回答をいただきました。

[要望事項に対する回答]

１　平成18年12月に国連で採択された「障害者権利条約」では、「障害に基づく差別の禁止」と「合理的配慮の提供」が規定されるとともに、障害者が住みにくい環境は社会が作り出しているという「社会モデル」と呼ばれる考え方が反映されています。

障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を実現するため、今後も「障害者差別解消法」の取組や「ヘルプマーク・ヘルプカード」の普及啓発に取り組むこととしており、そのような取組により「社会モデル」の考え方が広く県民に普及していくと考えております。

２　平成25年３月に策定した「第３次青森県障害者計画」において、「だれもが、どこでも、自立し、安心して暮らせる共生社会」を目指して、各種施策の推進に取り組んでおります。

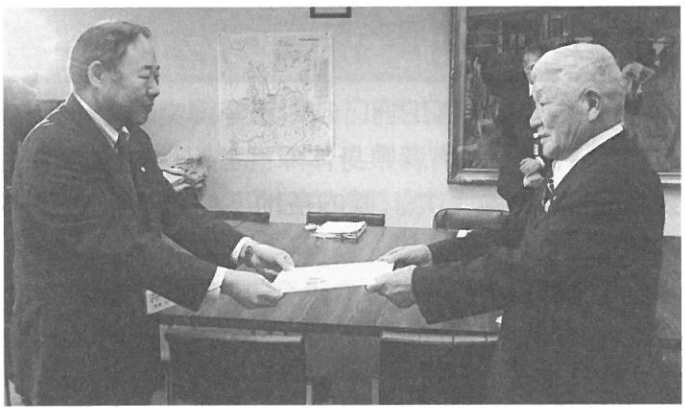
また、平成28年４月１日に施行された「障害者差別解消法」の取組として、県では、職員対応要領の制定や、差別解消相談窓口の整備、障害者差別解消支援地域協議会の設置、県民への普及啓発を行い、障害を理由とする差別の解消が着実に進むよう、取り組んでいます。

今後も「障害者差別解消法」の円滑な施行に努め、障害者に対する差別のない社会づくりを進めていくとともに、共生社会づくりの実現に向け障害者施策の推進に取り組んでいきます。

３　市町村身体障害者福祉会の活性化については、各団体が考える活性化の方策に対し、県ができる支援について相談していただきたいと考えております。

４　県としては、身体障害者相談員が地域における役割の必要性を十分認識しており、今後も機会を見て、市町村に対し配置の検討を求めていきます。

５　今後、障害者に対して効果的に事業を実施するためのあり方について検討していきたいと考えております。



厚生労働大臣表彰おめでとうございます

【自立更生者】

久保　キヌヱ氏
（青森市身体障害者福祉連合会）



肢体不自由の障害を克服し、洋裁の技術を身に付け、洋裁教室の開設や指導者として永年活躍し、他の障害者の模範となりました。

現在も地域の障害者が自立できるよう小規模作業所を設置、経営し地域社会の福祉活動にも積極的に取り組んでいます。

寄付金の贈呈について

平成29年８月８日（火）リンクステーション青森（青森文化会館）で開催されました「第278回フコク生命チャリティコンサート（フコク生命青森支社主催）」の会場にて、ご来場さまからお寄せいただいたチャリティ募金の一部を一般財団法人青森県身体障害者福祉協会がいただきました。

いただいた寄付金につきましては、地域の身体障害者福祉のため有効に活用させていただきます。

寄付者名　富国生命保険相互会社青森支社
支社長　青木　朋紀　様
寄 付 額　￥219,946円

第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」



第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」が、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」のスローガンのもと、平成29年10月28日～30日の３日間、愛媛県総合運動公園陸上競技場を中心に開催されました。

青森県選手団は、個人競技に選手27名、団体競技に選手20名、役員26名、計73名が参加しました。

10月26日、青森空港にて結団式を行い、青森県知事から阿部弘子団長に団旗が授与され、激励の言葉、団長謝辞、選手代表決意表明の後、愛媛県へと向かいました。

10月28日に行われた開会式では、阿部団長と旗手の吉田知樹選手を先頭に29名が入場行進をしました。午後から各会場にわかれ３日間の競技が始まりました。

大会期間は台風が上陸し中止になる競技もある中、選手の皆さんは全力で競技に挑み、金４個、銀９個、銅４個の合計15個のメダルを獲得しました。

各会場では、他県の選手団、ボランティア、地元愛媛県の皆さんとも交流を深め思い出に残る大会となりました。

大会参加にあたってはご協力いただきました各関係団体、ボランティアの皆様をはじめ、ご支援いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

なお、次回の全国障害者スポーツ大会は平成30年10月13日 ～ 15日に福井県内で開催される予定です。



青森市　松橋選手（前）
階上町　長瀬選手（後左）



つがる市　松橋選手（左）
七戸町　　白木選手（右）



平川市　七戸選手

国際大会出場者へ助成金交付

身障スポーツ振興基金を運営する当協会が平成29年12月４日、当該基金を財源とする助成事業の一環で平成29年12月にドバイで開催される「2017ドバイアジアユースパラ競技大会」に出場する吉田知樹氏（17）に助成金を交付した。

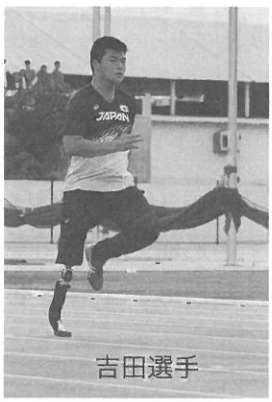
本助成事業は身体障害者スポーツの普及・振興を図るのが目的。吉田氏は初めての国際大会に向けて「自己ベストを更新して優勝を目指す」と抱負を語った。



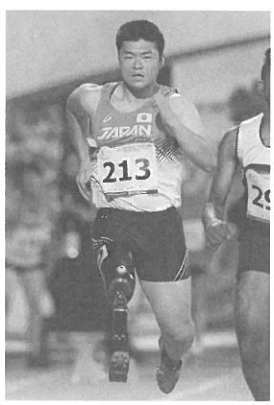
交付式で助成金を受け取る吉田㊧と齋藤前事務局長

吉田知樹氏は先天的に脛骨の一部を欠損し義足を着用しており、中学３年時に右大腿を切断した。その後、競技用義足セミナーの参加をきっかけに、高校から陸上競技を始めた。平成29年６月に行われた「日本パラ陸上競技選手権大会」の男子100m走では、日本パラ陸上競技連盟の強化育成指定標準記録の16秒15を切る14秒69を記録。同連盟から強化育成選手の指定を受けた。

吉田氏は「夢は東京パラリンピックで金メダル獲得」とこれからの競技生活にも意欲を見せた。



吉田選手



第５回ねむのき杯ボッチャ大会を開催

平成29年度身体障害者スポーツ振興基金運営事業として、平成29年11月19日、ねむのき会館体育館を会場に第５回ねむのき杯ボッチャ大会を開催しました。

県身協加盟団体会員を中心に過去最多の13チーム45名がご参加くださいました。試合は、３対３のチーム戦を予選リーグ・決勝トーナメント方式で行いました。

今年で５回目となるこの大会は、参加者のレベルが年々上がり、見応えのある試合が多くありました。今大会の優勝は前大会から２年連続で平川市身障福祉会Aチームでした。準優勝は七戸町身障福祉会Aチーム、第３位は青森市身障福祉会Cチームでした。



リオパラリンピックのボッチャ日本代表銀メダルで一気に普及が加速したボッチャは、平成33年度から全国障害者スポーツ大会で正式競技に導入されます。また、年齢問わず、経験問わずどなたでも楽しめる競技です。津軽地区身体障害者福祉協議会では平成30年度の地区スポーツ大会でボッチャを採用されるそうです。

県身協では、加盟団体様よりご要望があれば、出前ボッチャ教室を開催いたします。平成30年度にボッチャ教室をご希望の団体様は、県身協事務局までお知らせください。



平川市身障福祉会Aチーム
（木村・七戸・齋藤）

ねむのき冬祭りのお知らせ

障害者及び地域住民の交流、また冬場の運動不足解消を目的として、毎年恒例のねむのき冬祭りを開催します。

日　時	平成30年２月24日(土)10：30～14：30
場　所	青森県身体障害者福祉センター ねむのき会館「体育館」ほか
内　容	ゲーム、レクリエーション、よさこい （出演：チームこぶし・舞鼓童）など

※参加費、昼食（カレーライス）無料

お問い合わせ、参加ご希望の方は、ねむのき会館事務局（017-738-5033）までご連絡ください。

申込書での参加受付となります。

当日は、上履きをご準備ください。



日本身体障害者福祉大会参加の旅（群馬）へのご案内

第63回日本身体障害者福祉大会が、平成30年６月13日㈬、14日㈭の日程で群馬県高崎市において開催されます。

県身協では、２泊３日の日程で「大会参加の旅」を企画しました。

旅行日程詳細や申込書は、１月下旬に各市町村身体障害者福祉会長宛てに送付いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

【旅行期日】　平成30年６月13日㈬～６月15日㈮
【旅行代金】　お一人様70,000円（予定）
※大会参加費含む
【募集人数】　20名
【申込方法】　平成30年４月25日㈬までに県身協事務局へ申込書にてお申し込みください。

6/13㈬　新青森駅（８時37分）→七戸十和田駅→八戸駅→大宮駅→世界遺産・富岡製糸場→群馬名産・こんにゃくパーク→高崎市内（泊）

6/14㈭　大会参加（午前）→少林寺達磨寺→伊香保温泉（泊）

6/15㈮　榛名神社・榛名湖遊覧船→日本三大うどん・水沢うどん（昼食）→伊香保イチゴ狩り→大宮駅→八戸駅→七戸十和田駅→新青森駅（18時45分）

※日程は変更になる場合もあります。